

「令和8年度病害虫発生予報第4号」の発表について

○今後の主要な病害虫の発生予察情報（発生予報）については次のとおりです。

- ・ 水稻では、斑点米カメムシ類の発生が、東北、南関東、北陸、四国及び九州の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 野菜・花きでは、オオタバコガ及びシロイチモジヨトウの発生が、東海及び近畿等の複数の地域の一部で多くなると予想されています。
- ・ 果樹では、果樹カメムシ類の発生が、北関東、北陸、東海、近畿、中国、四国及び九州の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、茶のクワシロカイガラムシ等、地域によっては多くなると予想されている病害虫があるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に適期の防除を実施してください。

国の発生予察情報について

国は都道府県の協力の下、植物防疫法（昭和25年法律第151号）に基づき、有害動植物の防除を適時で経済的なものにするため、気象、農作物の生育状況、有害動植物の発生調査の結果等を分析し、有害動植物の発生予察及び防除対策に係る情報（発生予察情報）を提供しています。

本予報は、都道府県が提供する発生予察情報を取りまとめた情報になりますので、地域における情報の詳細は、都道府県病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

- ・ 国の病害虫発生予察情報及び都道府県病害虫防除所のリンク

参照URL: <https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

総合防除の実践

温暖化等の気候変動や薬剤抵抗性の発達等を背景に、病害虫・雑草への対応が年々難しくなっています。このため、消費者に支持される食料の安定的な供給が確保されるよう、「予防・予察」に重点を置いた総合防除によって、病害虫・雑草が発生及び増加しづらい生産環境を整え、持続的かつ効果的な防除を適時適切に実施し、病害虫・雑草のまん延防止及び農作物への損害の発生を軽減することが重要です。

- ・ 総合防除実践ガイドライン

参照URL: https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/g_ipm/attach/pdf/index-34.pdf

- ・ 総合防除実践マニュアル

参照URL: https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/g_ipm/attach/pdf/index-44.pdf

気象庁の向こう1か月の予報（7月2日付け）では、気温は、北日本、東日本及び西日本で高い、沖縄・奄美でほぼ平年並と予想されています。降水量は、北日本及び東日本日本海側でほぼ平年並、東日本太平洋側及び西日本で平年並か少ない、沖縄・奄美で平年並か多いと予想されています。日照時間は、全国的にほぼ平年並と予想されています。

- ・気象庁ホームページ

参照URL: <https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/>
(外部リンク)

水稲で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
水稲	斑点米カメムシ類	東北、南関東、北陸、四国、九州	北海道、東海、近畿
	いもち病 (葉いもち)		東海、四国、北九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

・**斑点米カメムシ類**が、東北、南関東、北陸、四国及び九州の一部の地域で多くなると予想されており、山形県、石川県、佐賀県、宮崎県及び鹿児島県から注意報が発表されています。

多くの種が水田周辺の雑草に生息し、出穂期になると水田に侵入し穂を加害します。被害の程度は、カメムシの発生種、水田への侵入のタイミング（水稲の生育ステージ）と侵入量等によって異なるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、水田の観察を行い、適期に防除を実施してください。本虫の水田への侵入を抑制するため、出穂の10日前までには水田周辺の畦畔や休耕田の適切な雑草管理を実施してください。

なお、本虫は移動・分散能力が高いことから、地域一斉の雑草管理が重要です。可能な限り地域一斉の除草を実施してください。

また、**イネカメムシ**は、斑点米だけでなく、不稔被害も引き起こす斑点米カメムシ類の一種であり、近年、不稔による減収被害が生じた地域も報告されています。本虫による不稔を防止するためには、他の主要な斑点米カメムシ類と異なり、出穂期に防除することが重要です。

イネカメムシは稲を好んで加害することから、周囲より出穂が早い品種の水田や、防除が行われていない水田（飼料用米等）は、集中加害を受ける場合があります。これらの水田は特によく水田内を観察し、発生に注意してください。

・**いもち病（葉いもち）**の発生が、東海、四国及び北九州の一部の地域でやや多くなると予想されています。本病の発生は温湿度など気象条件に大きく影響を受け、感染に好適な条件（降雨や結露により葉が長時間濡れる等）が続いた場合に、急激に発生及びまん延するおそれがあります。都道府県の発表する感染好適条件の出現状況を参考に、水田内の観察による早期発見に努め、葉いもちの発生を認める場合は、発生状況に応じて薬剤防除を行ってください。

なお、一部の薬剤に対して耐性菌が発生しているため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に効果的な薬剤による防除を実施してください。また、本病の発生を助長させないように、適正な肥培管理に努めてください。

野菜・花き

野菜・花きで各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
トマト	コナジラミ類		南東北、北関東、南九州
ねぎ	アザミウマ類		北東北、甲信、近畿
作物共通	オオタバコガ	北海道、北東北、東海、近畿	南東北、北関東、甲信、四国
	シロイチモジヨトウ	北陸、東海、近畿	北東北、四国

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

作物共通

・オオタバコガ及びシロイチモジヨトウの発生が、東海及び近畿等の複数の地域の一部で多くなると予想されています。オオタバコガでは、北海道、愛知県及び大阪府から、シロイチモジヨトウでは、富山県、愛知県及び大阪府から注意報が発表されています。

これらの幼虫は果実や花蕾、結球の内部に食入するため、発生初期の防除が重要です。都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場内の観察をきめ細かく行い早期発見に努め、適期に防除を実施してください。施設栽培では、開口部に防虫ネットを適切に展張し、成虫の侵入を防止してください。

なお、上記種類は、一部の薬剤に対して感受性の低下が認められているので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、同一系統薬剤の連用を避け、効果の高い薬剤を適切に選定してください。

果樹・茶

果樹・茶で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
果樹共通	果樹カメムシ類	北関東、北陸、東海、近畿、中国、四国、九州	東北、甲信
りんご	斑点落葉病	北関東	北海道、東北
なし	黒星病		南東北、北関東、近畿
茶	クワシロ カイガラムシ	東海	近畿、南九州
	チャノミドリ ヒメヨコバイ	東海、北九州	近畿、南九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

果樹共通

・果樹カメムシ類の発生が、北関東、北陸、東海、近畿、中国、四国及び九州の一部の地域で多いと予想されており、石川県から注意報が発表されています。本年は、春先からの気温が高く推移したことから、越冬個体数が多かった地域を中心に、園地への飛来が多く見られました。今後の飛来リスクは、越冬世代の個体数とスギ・ヒノキ球果の着果量によって左右されます。

これらの情報を踏まえた都道府県が発表する発生予察情報等を参考にしつつ、スギ林やヒノキ林等の山林に隣接している園地では、果樹カメムシ類による被害が多い傾向があることから、引き続き飛来状況に留意してください。

園内の観察をきめ細かく行い、飛来が認められた場合は、飛来初期から防除を実施してください。本虫は薄暮期から夜間を中心に活動するため、夕方の薬剤散布が効果的です。なお、地域一斉に薬剤散布を実施すると防除効果が高まることから、発生状況等を地域で共有して、可能な限り地域一斉の防除を実施してください。

・カメムシ類の防除

参照URL: <https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/kamemusi.html#kajyukamemusirui>

茶

・クワシロカイガラムシの発生が、東海の一部の地域で多いと予想されており、静岡県から注意報が発表されています。本虫の防除適期は孵化最盛期の2～5日後と短いため、他の地域においても園地の観察をきめ細かく行い本虫の孵化最盛日予測情報等を確認し、適時の薬剤散布を実施しましょう。

・チャノミドリヒメヨコバイの発生が、東海及び北九州の一部の地域で多いと予想されています。本虫が多発しないように他の地域においても、園内の観察をきめ細かく行い本虫の発生状況を確認し、萌芽～開葉期の防除を徹底しましょう。なお、本虫は、一部の薬剤に対して感受性の低下が認められているので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、同一系統薬剤の連用を避け、効果の高い薬剤を適切に選定してください。

都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

令和8年6月11日以降、都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は以下のとおりです。

警報

発表はありません。

注) 重要な病害虫が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講ずる必要がある場合に発表します。

注意報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
6月11日	石川県	果樹共通	果樹カメムシ類
6月11日	鹿児島県	早期水稲	斑点米カメムシ類（クモヘリカメムシ、アカスジカスミカメ等）
6月12日	東京都	キウイフルーツ	キウイフルーツかいよう病（Psa3系統）
6月12日	富山県	ネギ	シロイチモジヨトウ
6月15日	宮崎県	早期水稲	斑点米カメムシ類
6月16日	北海道	とうもろこし	アワノメイガ
6月22日	佐賀県	早期水稲	斑点米カメムシ類
6月22日	北海道	作物共通	オオタバコガ
6月26日	静岡県	茶	クワシロカイガラムシ
6月26日	島根県	いちご	うどんこ病
6月30日	新潟県	西洋なし	セイヨウナシ褐色斑点病
6月30日	沖縄県	オクラ	フタテンミドリヒメヨコバイ
6月30日	大阪府	なす科果菜類、うり科果菜類、キャベツ等のあぶらな科野菜、オクラ、スイートコーン、花き類等	オオタバコガ
6月30日	大阪府	しゅんぎく、ねぎ類、キャベツなどのあぶらな科野菜、なす科果菜類、花き類など	シロイチモジヨトウ
7月2日	石川県	水稲	斑点米カメムシ類
7月2日	山形県	水稲	斑点米カメムシ類
7月3日	愛知県	花き類、野菜類、ダイズ	オオタバコガ
7月3日	愛知県	花き類、野菜類、ダイズ	シロイチモジヨトウ

注) 警報を発表するほどではありませんが、重要な病害虫が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講じる必要がある場合に発表します。

特殊報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
6月19日	群馬県	タマネギ	ネギネクロバネキノコバエ
6月26日	島根県	サカキ	サカキブチヒメミドリヨコバイ
6月30日	東京都	カンキツ	カラタチトビハムシ
7月1日	熊本県	ニホンナシ	ナシ胴枯細菌病
7月1日	熊本県	オリーブ	オリーブ立枯病

注)各都道府県において、新たな病害虫を発見した場合及び重要な病害虫の発消長に特異な現象が認められた場合であって、従来と異なる防除対策が必要となるなど、生産現場への影響が懸念される場合に発表します。

病害虫の生態等の生物学的情報や防除に関する情報の詳細については、各都道府県の病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

見慣れない病害虫被害が発生していた場合の対応

我が国未発生又は我が国の一部のみが発生している重要病害虫が、万が一国内の未発生地域に侵入した場合、国内の農業生産に重大な損害を与えるほか、農産物の輸出を阻害するおそれがあります。こうした重要病害虫の侵入に伴う国内の農業生産や輸出への影響を防止するためには、国内の未発生地域への重要病害虫の侵入を早期に発見し、速やかに的確な防除を実施することが重要です。

農作物に見慣れない病害虫被害が発生していた場合には、最寄りの植物防疫所又は都道府県の病害虫防除所等にお知らせください。

- ・植物防疫所の連絡先
参照URL：<https://www.maff.go.jp/pps/j/introduction/domestic/dsinnyuu/221121.html>
- ・都道府県の病害虫防除所の連絡先
参照URL：<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/boujoshou.html>

用語解説

(地域)

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

北東北：青森県、岩手県、秋田県

南東北：宮城県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北関東：茨城県、栃木県、群馬県

南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

甲信：山梨県、長野県

北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県

東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県

南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県

沖縄：沖縄県

(発生量(程度))

多い(高い)：やや多いの外側10%の度数の入る幅

やや多い(やや高い)：平年並の外側20%の度数の入る幅

平年並：平年値を中心として40%の度数の入る幅

やや少ない(やや低い)：平年並の外側20%の度数の入る幅

少ない(低い)：やや少ないの外側10%の度数の入る幅

(平年値は過去10年間の平均)

(参考) 今後の発表予定日

第5号：令和8年7月23日(木曜日)

第6号：令和8年8月5日(水曜日)

第7号：令和8年9月9日(水曜日)

第8号：令和8年10月7日(水曜日)

第9号：令和8年11月11日(水曜日)

第10号：令和9年3月10日(水曜日)

【お問合せ先】

消費・安全局植物防疫課

代表：03-3502-8111(内線4562)

ダイヤルイン：03-3502-3382